

オリックス株式会社

2019年3月期第3四半期 決算説明資料

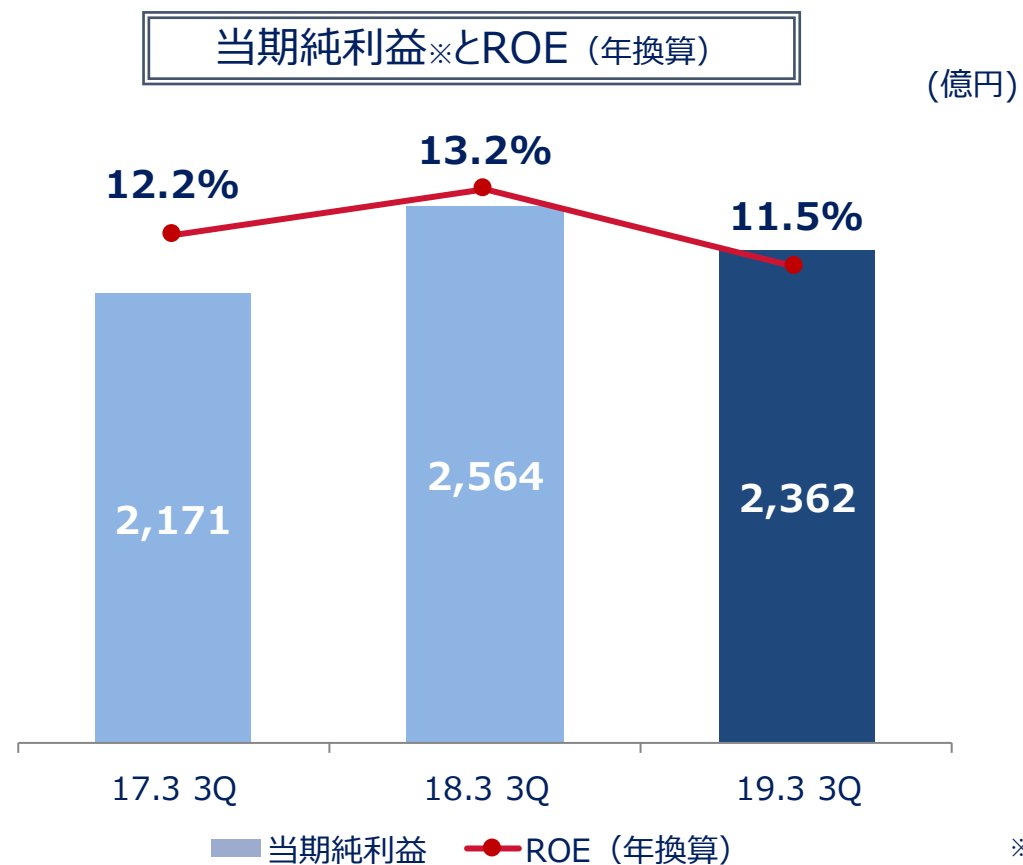
取締役兼執行役 経本部長

矢野 人磨呂

2019年1月28日

業績総括（1）

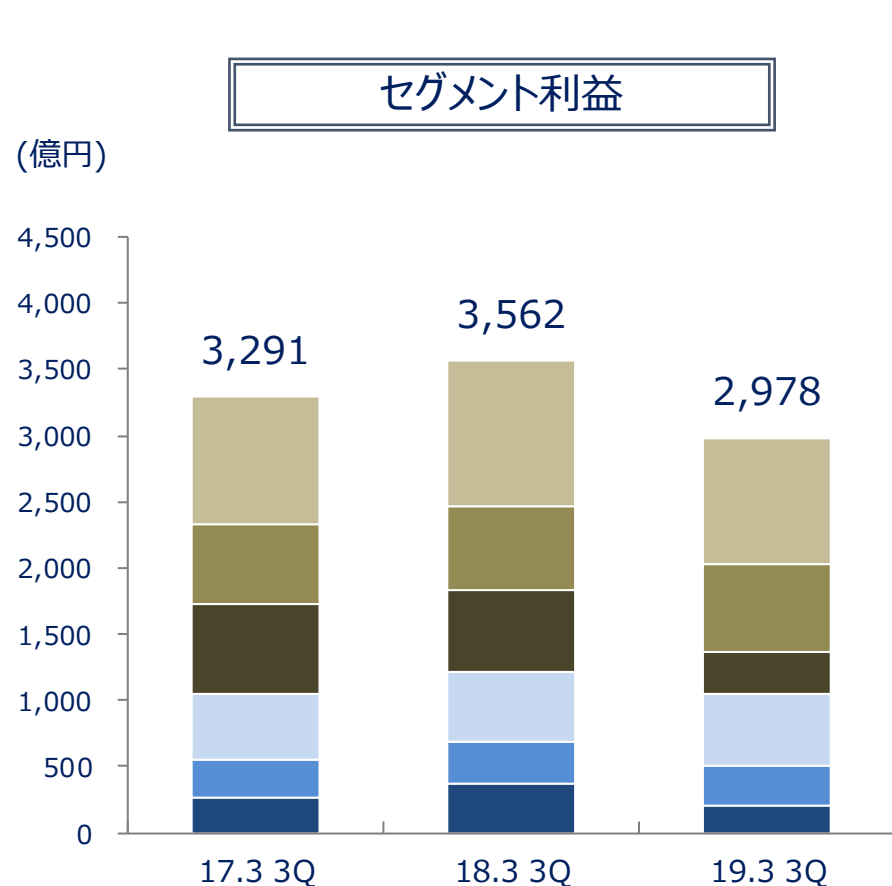
- ✓ 当期純利益は 2,362億円（前年同期比▲8%）
- ✓ ROE（年換算）は11.5%
- ✓ 19.3期3Q累計の新規投資額は、8,100億円



※「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。

業績総括（２）

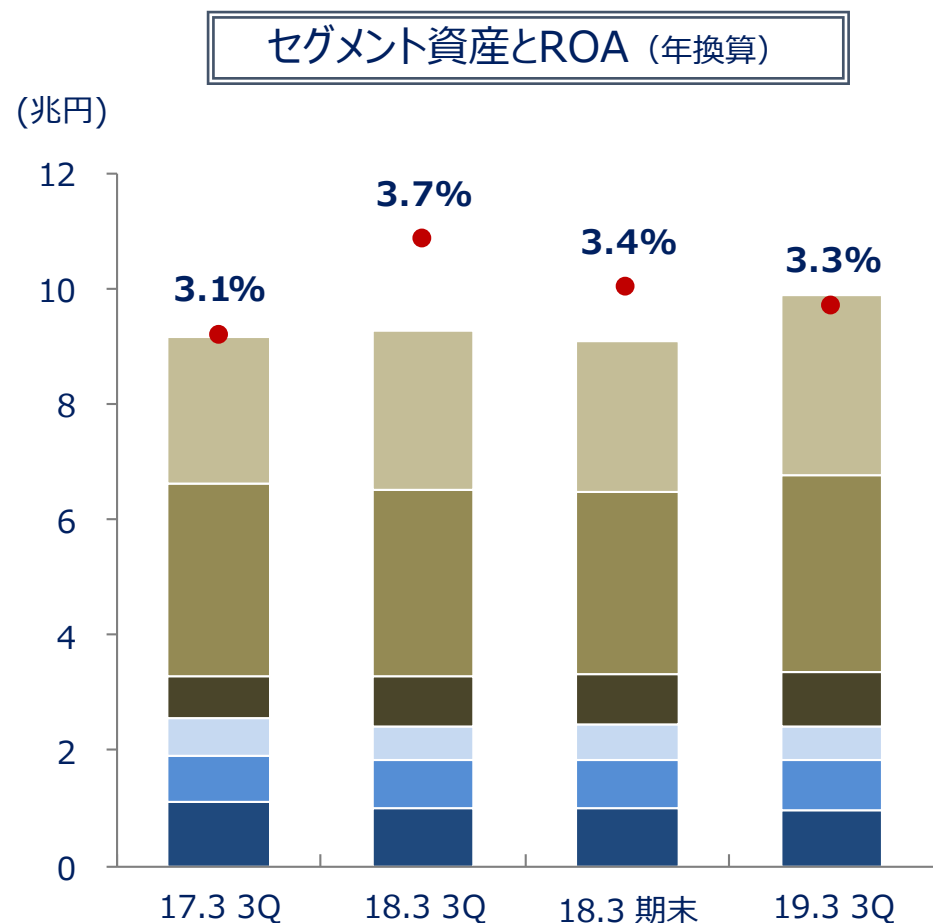
- ✓ セグメント利益合計は2,978億円（前年同期比▲16%）
- ✓ 前期の大口売却益や今期のマーケット変動が一時的な減益要因となるも、安定収益源が利益を下支え



	前年同期比	コメント
法人金融サービス	▲178	・ 前年同期の売却益計上や、今期のマーケット変動による評価損などの特殊要因により減益
メンテナンスリース	▲7	・ 自動車事業は増収減益、レンタル事業は堅調
不動産	+33	・ 前年同期を上回る売却益を計上
事業投資	▲323	・ 前年同期はPE投資、環境エネルギーで大口の売却益あり
リテール	+30	・ 生命保険、銀行・クレジットともに増益 ・ 旧ハートフォードはマーケット変動により会計上の損失を計上
海外	▲139	・ インドにおける関連会社の損失を計上

業績総括（3）

- ✓ セグメント資産は9兆9,093億円（前期末比+9%）
- ✓ 海外セグメントを中心に、将来の成長を見込む分野において積極的な資産の積み増しを行う

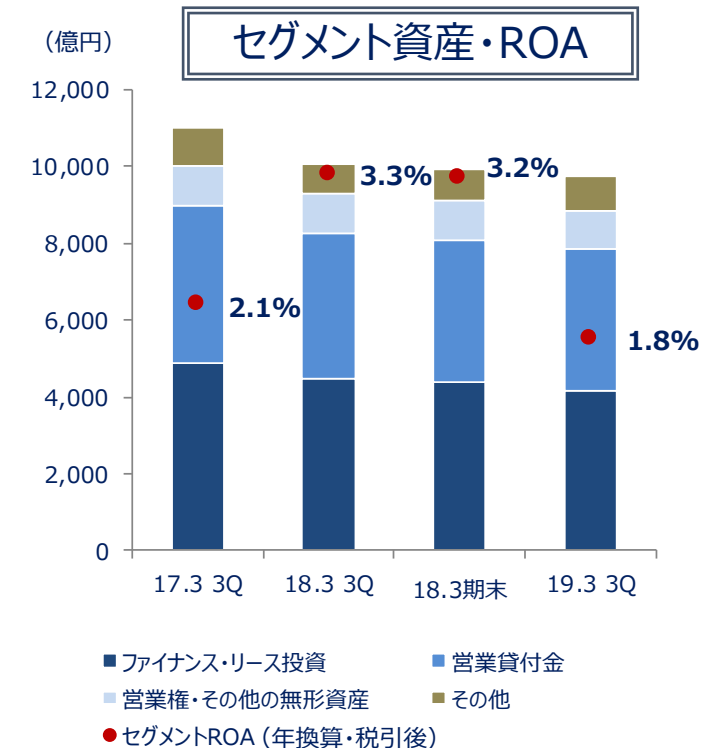
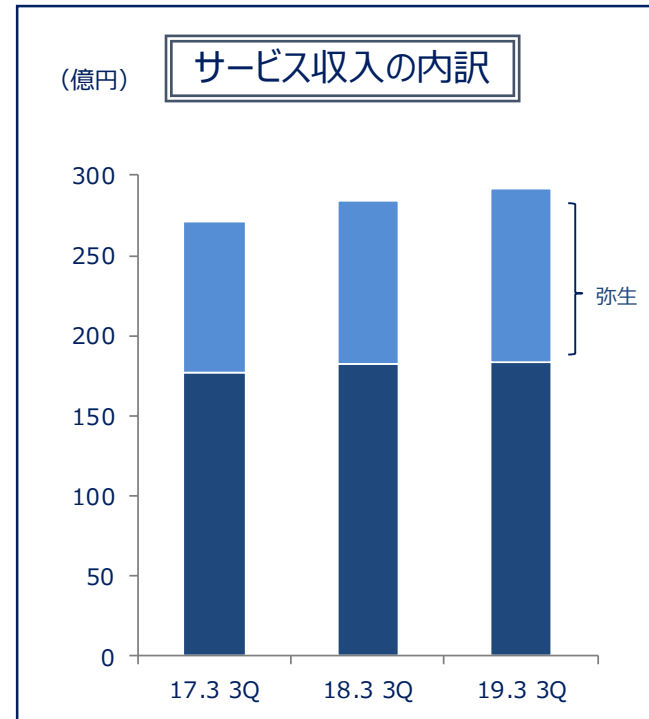
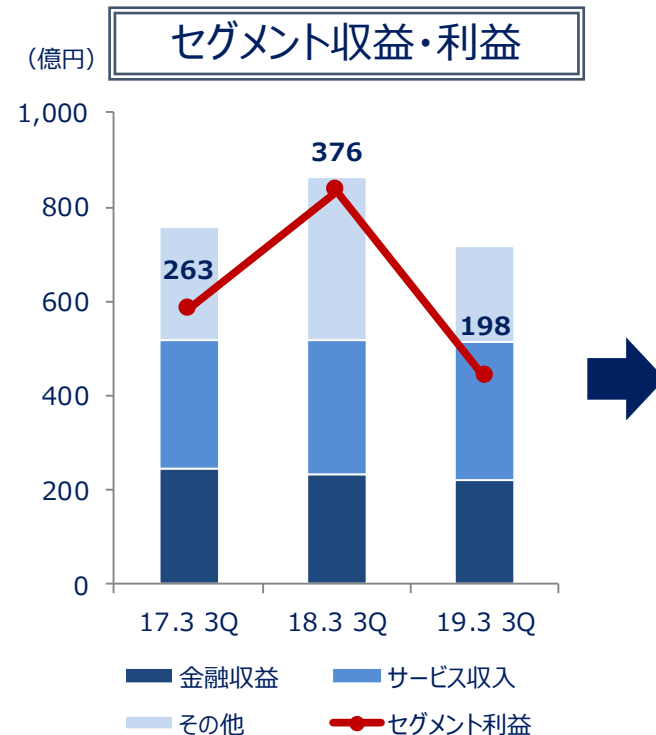


(億円)

	前期末比	コメント
法人金融サービス	▲169	・ ファイナンスリースが減少
メンテナンスリース	+152	・ 自動車リースの新規実行により増加
不動産	▲522	・ 売却により事業用資産、賃貸不動産が減少
事業投資	+1,027	・ PE投資、環境エネルギーで増加
リテール	+2,216	・ 生命保険、銀行で増加
海外	+5,400	・ NXT Capitalの買収、Avolonへの出資

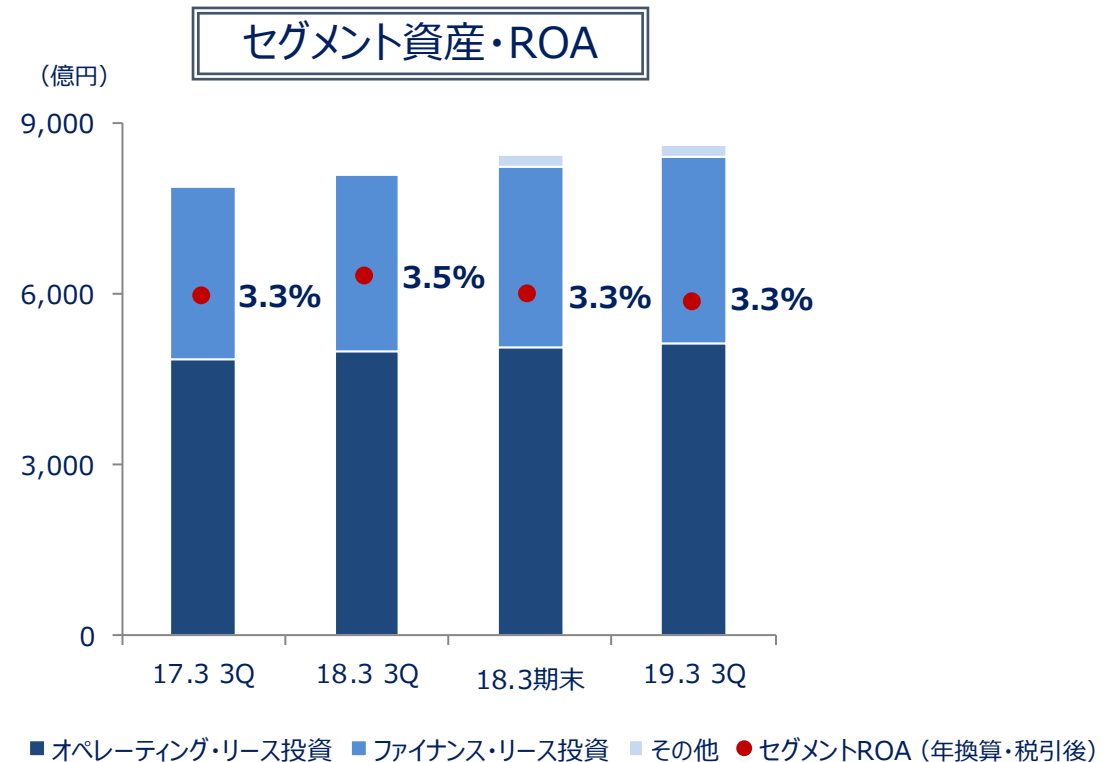
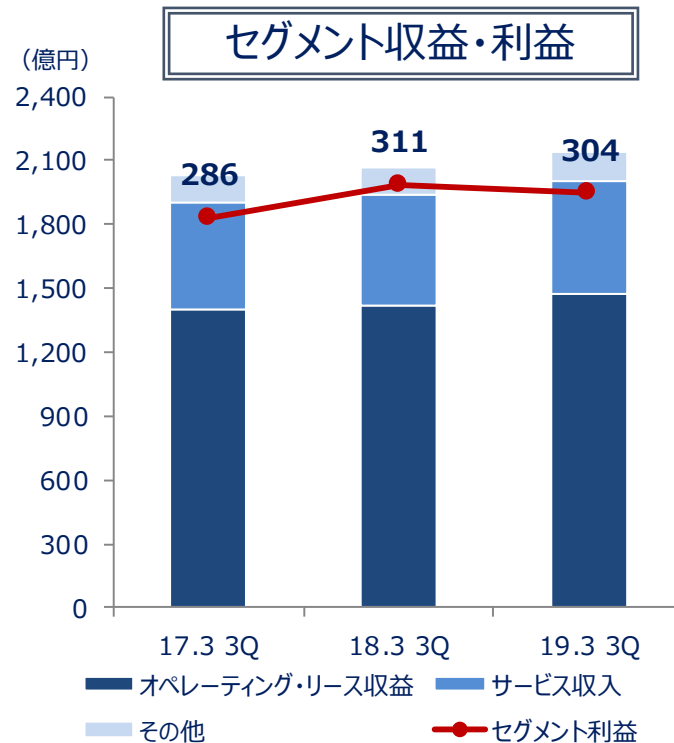
セグメント別業績（1）法人金融サービス

- セグメント利益：198億円 前年同期比 ▲178億円（▲47%）
 - ✓ 前年同期に関連会社株式および有価証券の売却益を計上したこと、今期にマーケット変動による評価損を計上したことなど、特殊要因が重なり減益
- セグメント資産：9,749億円 前期末比 ▲169億円（▲2%）
 - ✓ 主にファイナンス・リースが減少



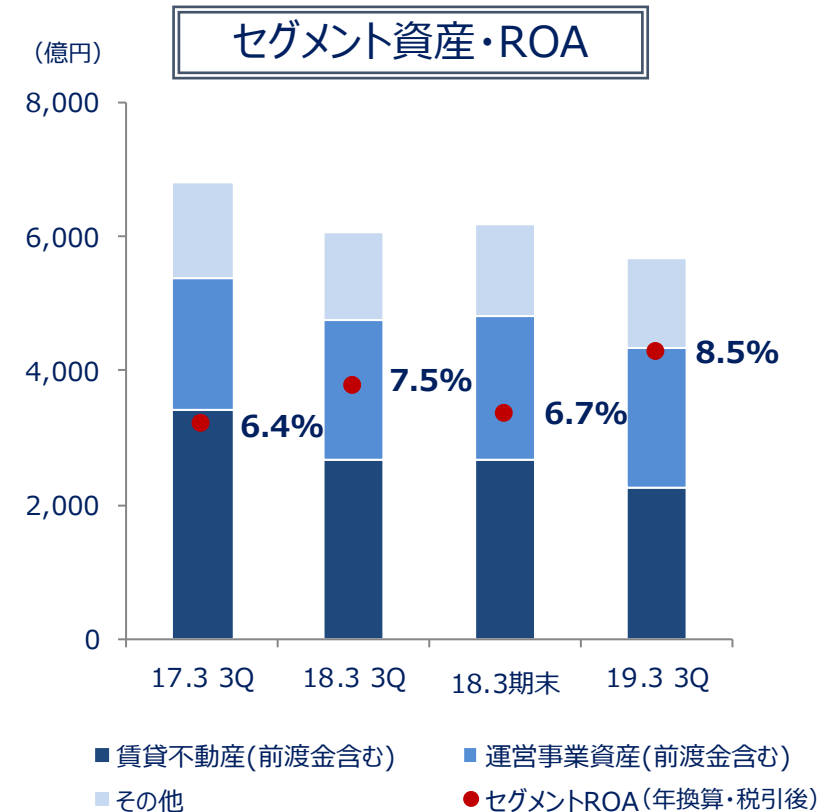
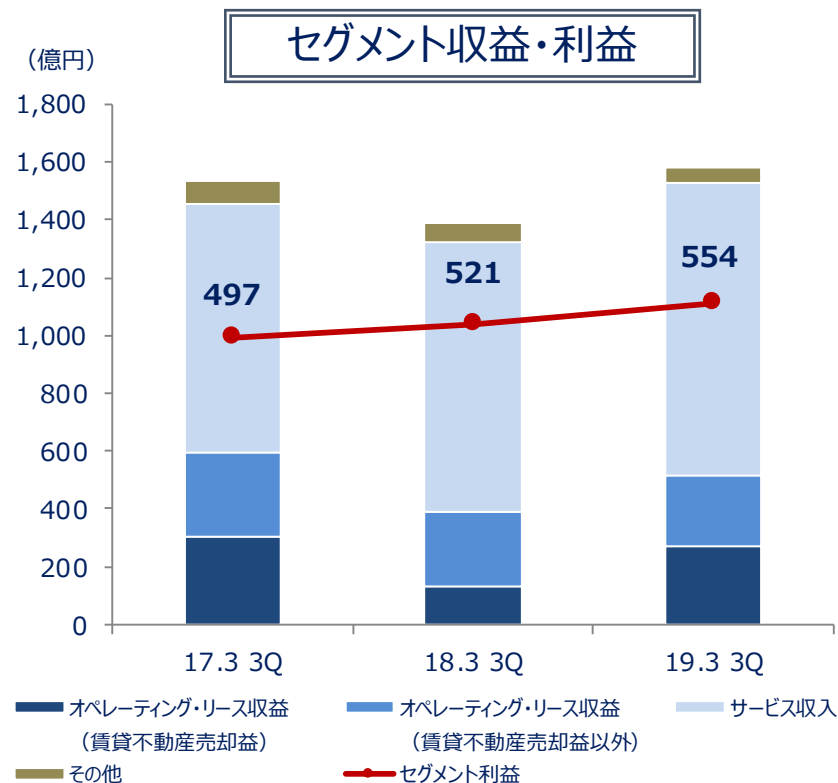
セグメント別業績（２）メンテナンスリース

- セグメント利益：304億円 前年同期比 ▲7億円（▲2%）
 - ✓ 自動車事業は、激しい競争環境のなか、資産積み増しにより収益増加するも利益は減少
 - ✓ レンタル事業は堅調
- セグメント資産：8,624億円 前期末比 +152億円（+2%）
 - ✓ 自動車リースの新規実行が増加



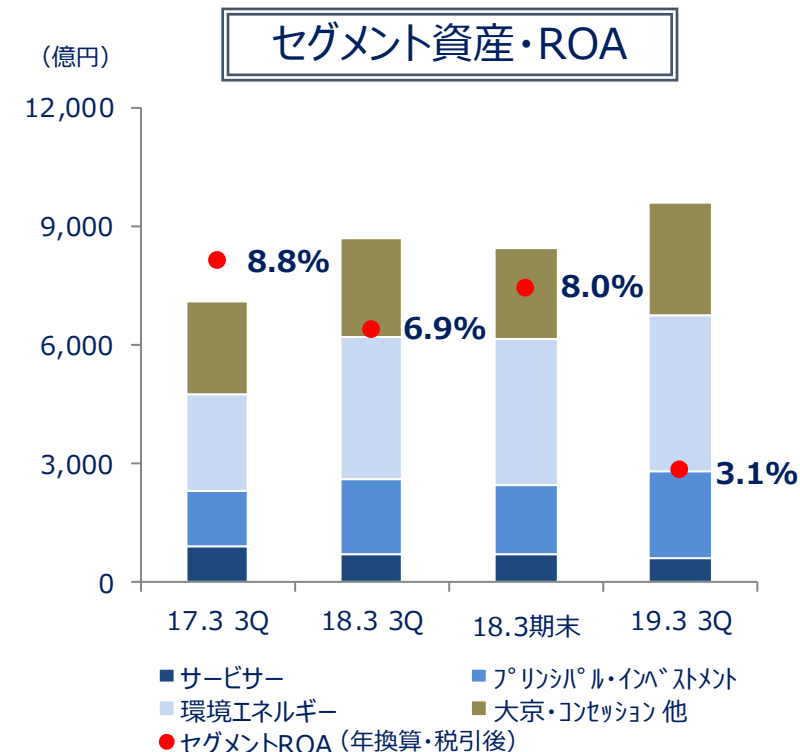
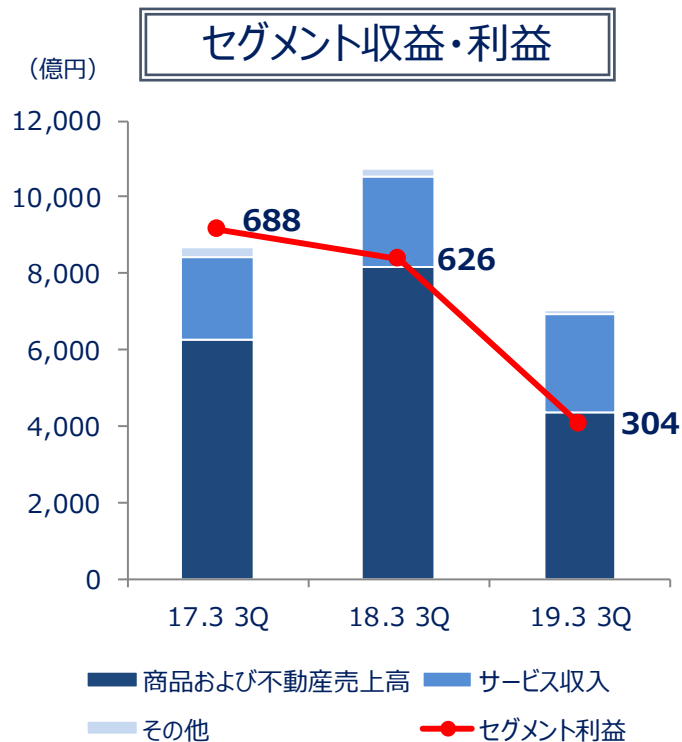
セグメント別業績（3）不動産

- セグメント利益：554億円 前年同期比 +33億円（+6%）
 - ✓ 前年同期をこえる不動産売却益を計上
- セグメント資産：5,681億円 前期末比 ▲522億円（▲8%）
 - ✓ 売却により運営事業資産および賃貸不動産が減少



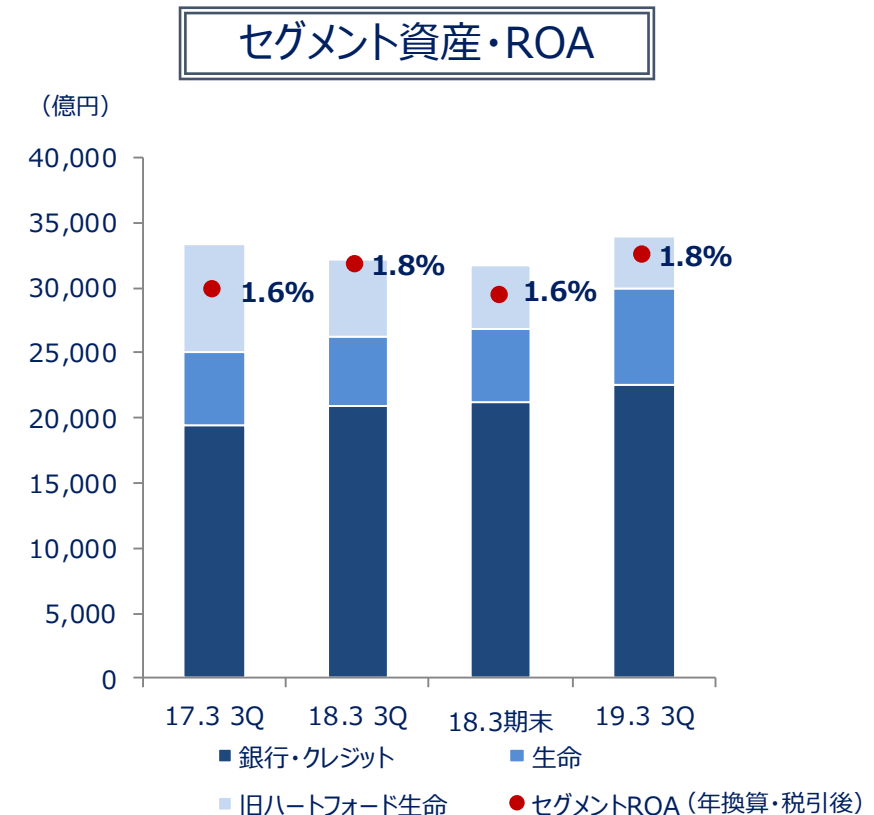
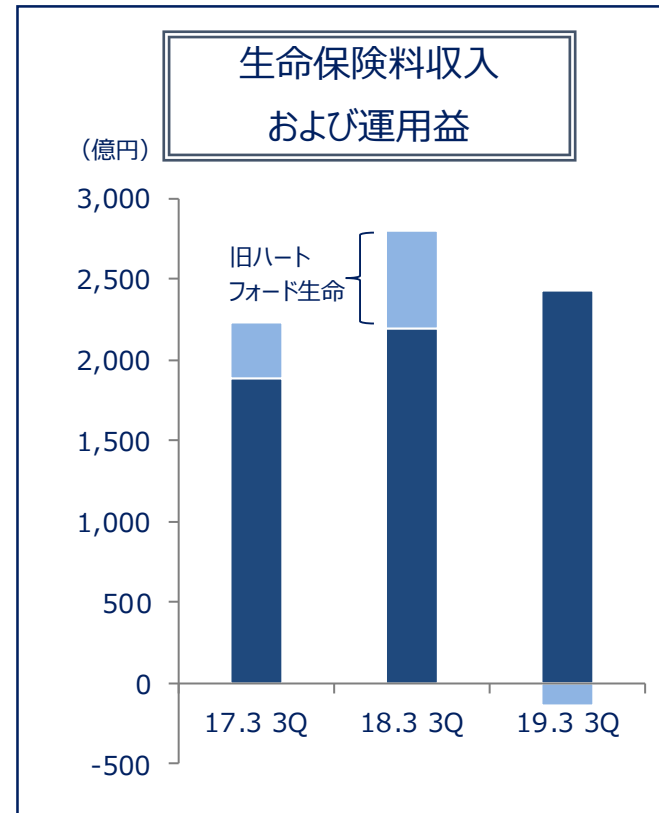
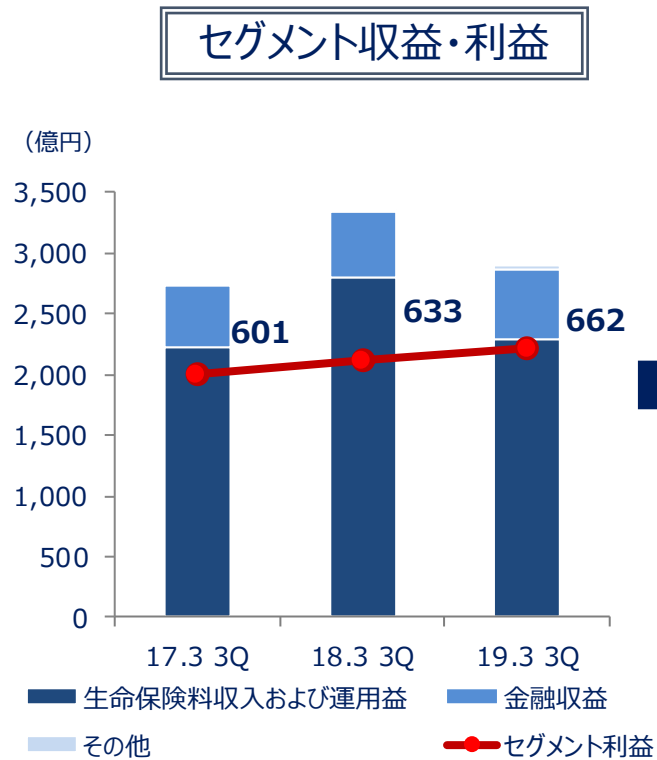
セグメント別業績（４） 事業投資

- セグメント利益：304億円 前年同期比 ▲323億円（▲51%）
 - ✓ 前年同期はPE投資および環境エネルギー事業で大口売却益を計上
 - ✓ 大京の利益は4Qに偏重の計画、コンセッションは堅調に推移
- セグメント資産：9,590億円 前期末比 +1,027億円（+12%）
 - ✓ 酪農機械を輸入販売する国内大手企業「コーンズ・エージ」へ出資、環境エネルギーでも増加



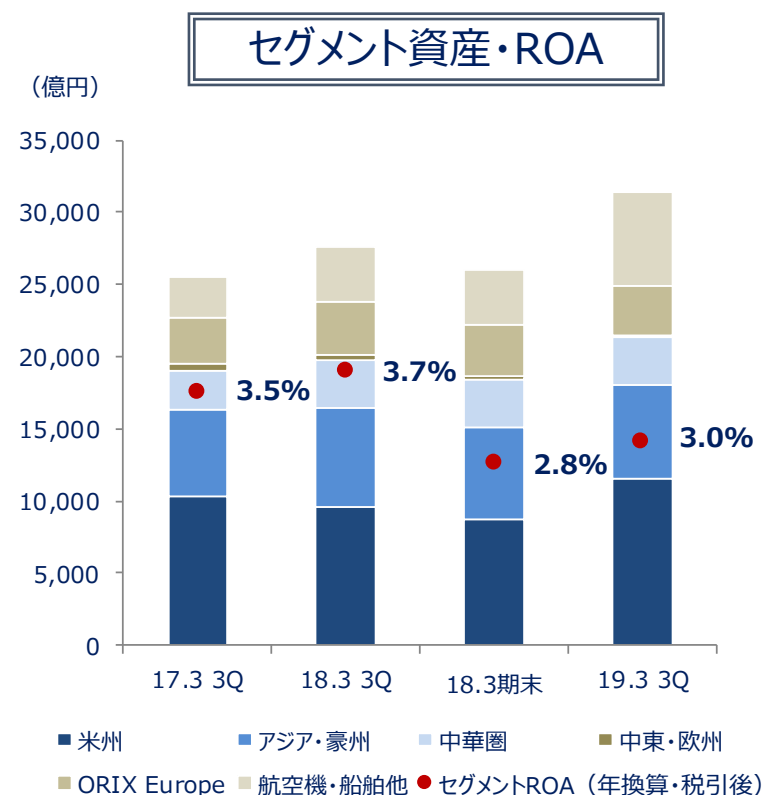
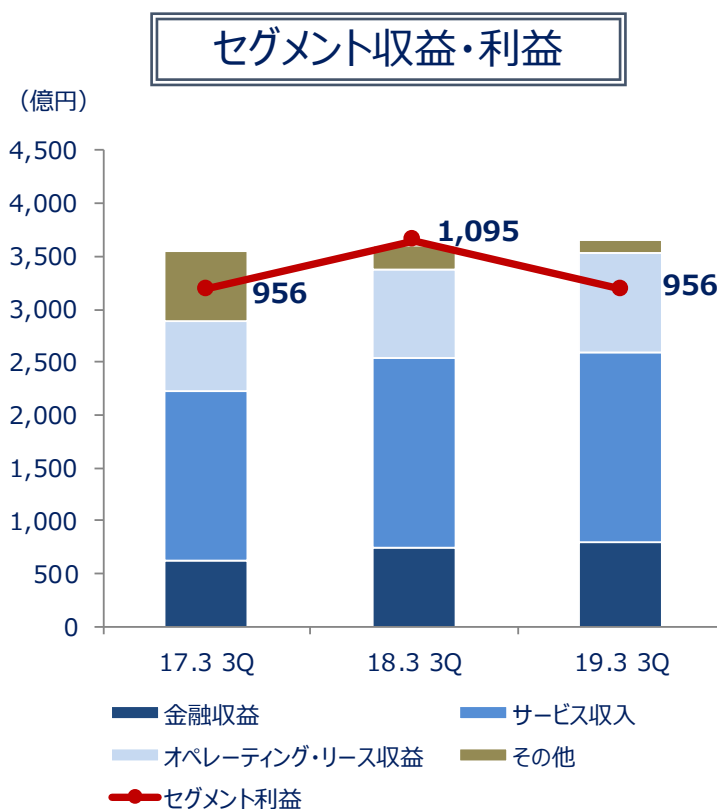
セグメント別業績（５）リテール

- セグメント利益：662億円 前年同期比 +30億円（+5%）
 - ✓ 生命保険料収益と銀行の金融収益が伸長、旧ハートフォードはマーケット変動により会計上の損失を計上
- セグメント資産：33,961億円 前期末比 +2,216億円（+7%）
 - ✓ 生命の投資有価証券、銀行の貸付金残高が増加



セグメント別業績（6） 海外

- セグメント利益：956億円 前年同期比 ▲139億円（▲13%、為替影響▲3億円）
 - ✓ 米州や航空機事業は堅調な一方、インドにおける関連会社の損失を主な原因として減益
- セグメント資産：31,488億円 前期末比 +5,400億円（+21%、為替影響+328億円）
 - ✓ NXT CapitalやAvolon、米国の通信インフラの設置・保守サービス会社「NTI Connect」を買収



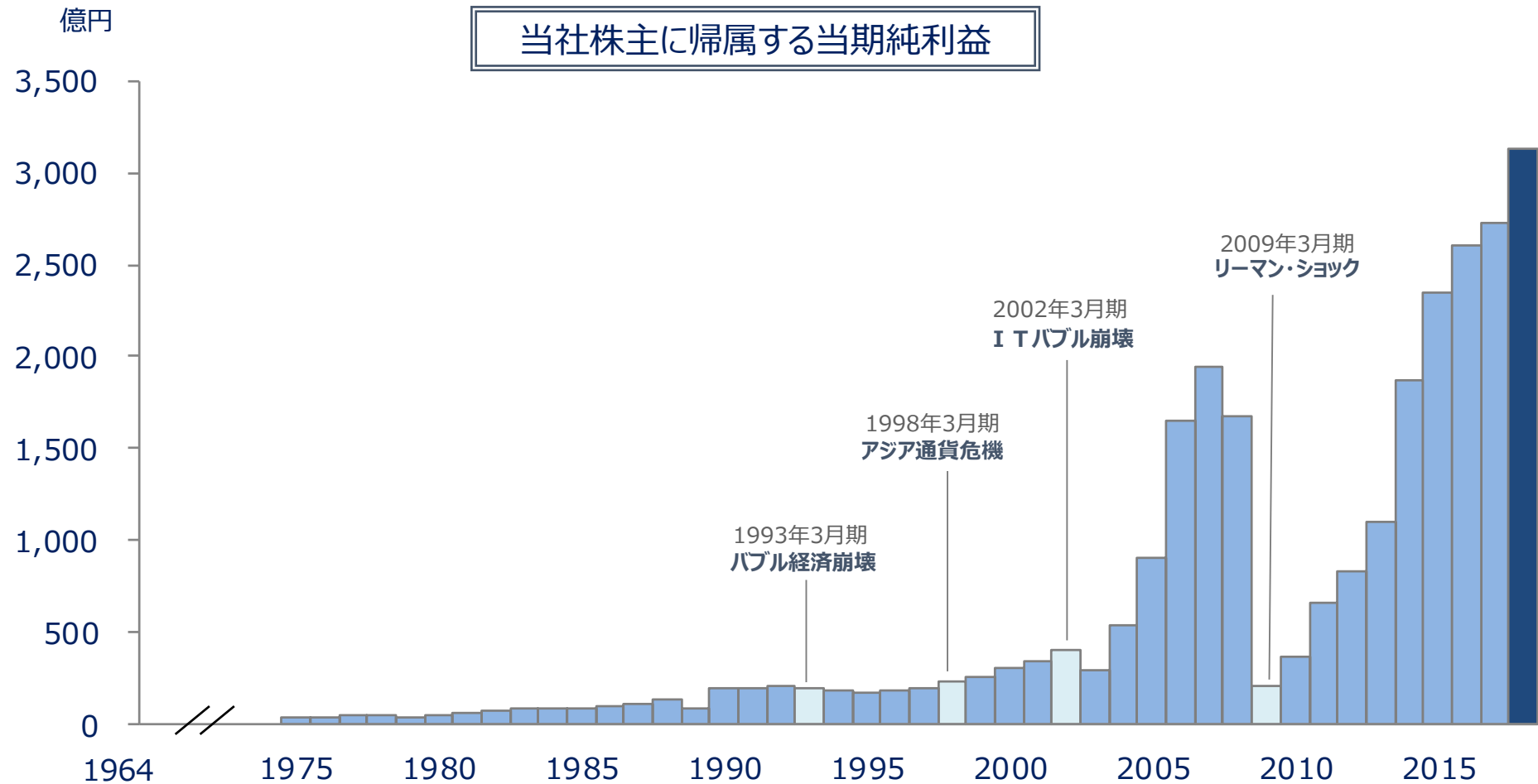
**19.3期3Q当期純利益は2,362億円、
ROEは11.5%（年換算）**

**19.3期3Q累計の新規投資額は8,100億円、
4Q以降の貢献を期待**

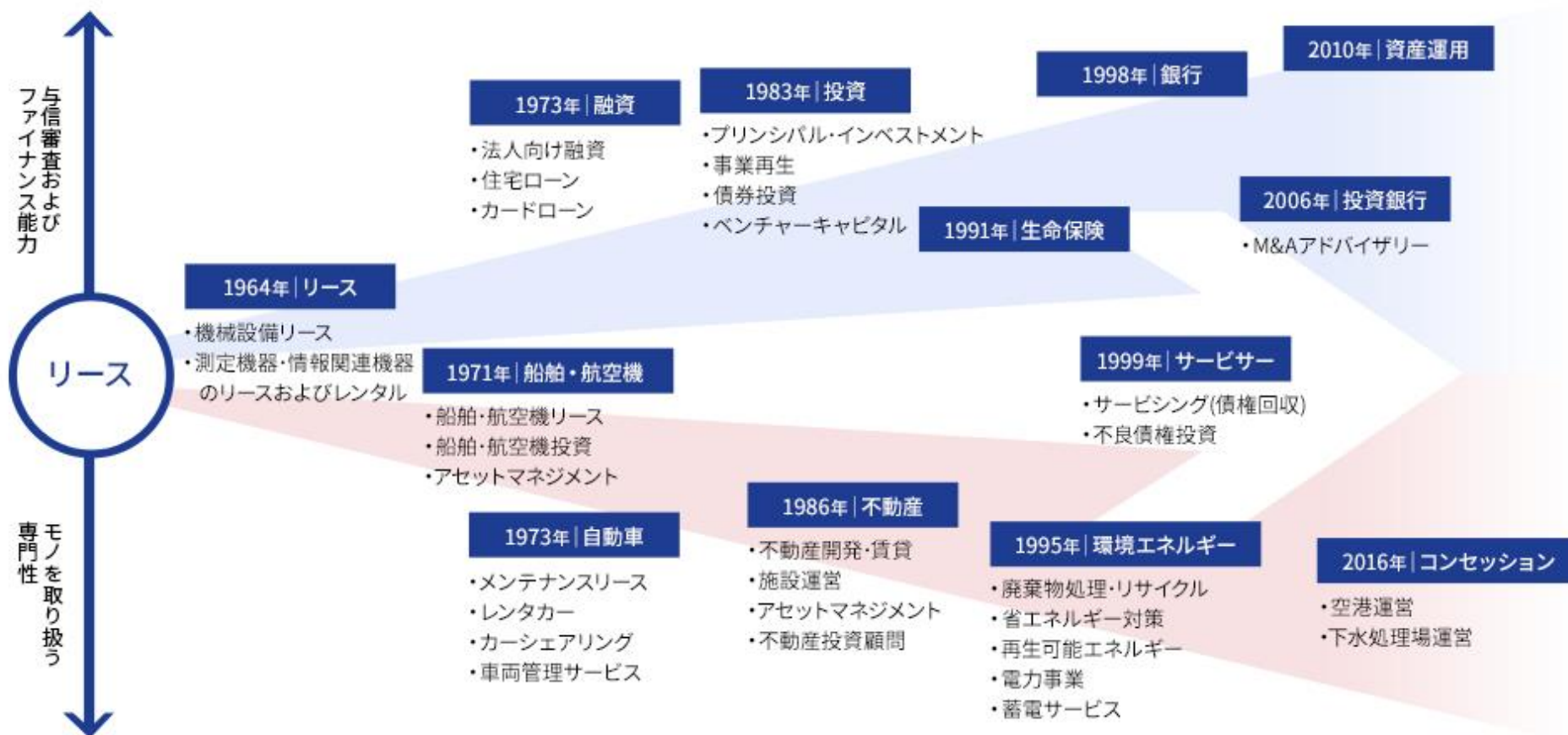
**環境の変化に対応しながら、
資産の入れ替えを図り、成長を継続する**

補足資料

- ✓ 設立初年度を除き、53年間毎年黒字を計上

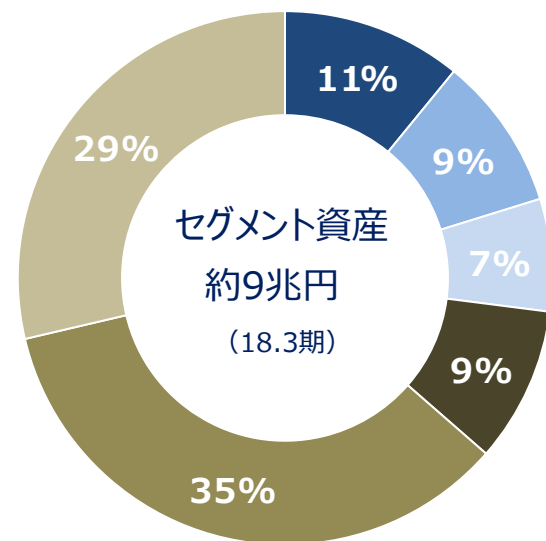
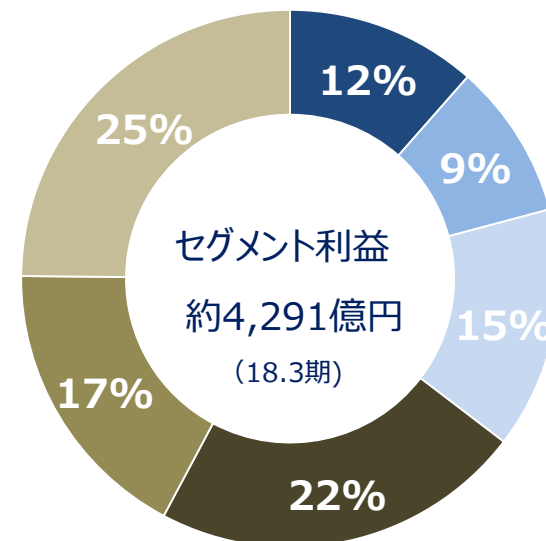


✓「金融」と「モノ」の専門性を高めながら、隣へ、そのまた隣へと事業展開

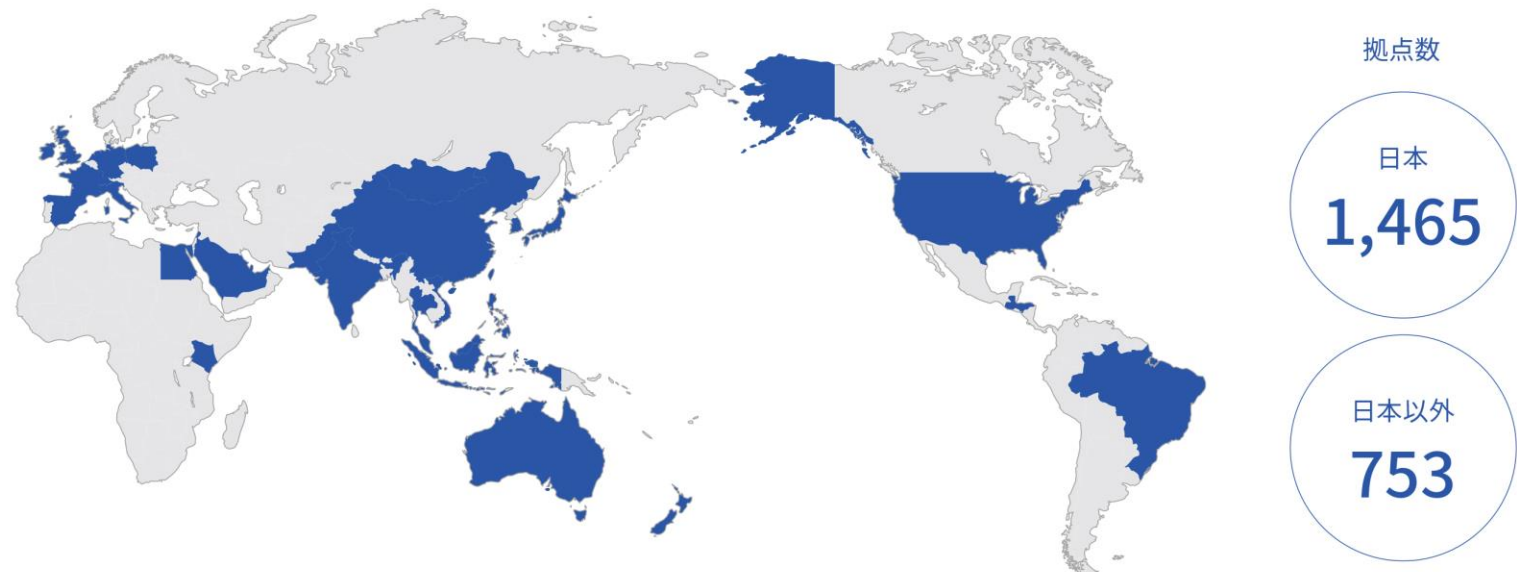


✓ それぞれの事業が独自の強みを最大限に発揮し、相乗効果を生み出している

法人金融	融資、リース、各種手数料ビジネス
メンテナンスリース	自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタル及びリース
不動産	不動産開発・賃貸、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問
事業投資	環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）、コンセッション
リテール	生命保険、銀行、カードローン
海外	リース、融資、債券投資、アセットマネジメント、航空機・船舶関連



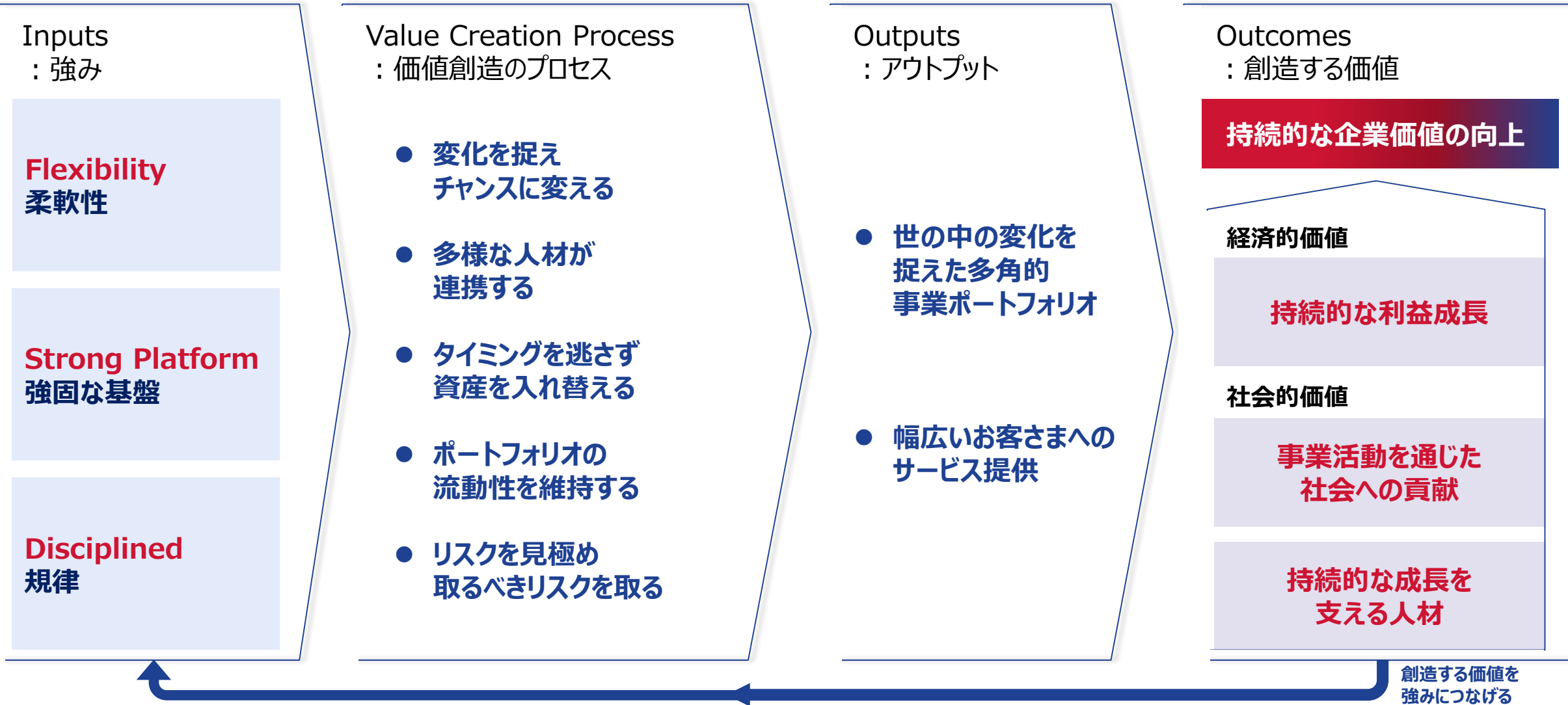
✓ 国内で培ったノウハウを元にネットワークを拡大、世界38ヶ国・地域で事業を展開



(2018年9月末日時点)

1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
グローバルネットワークの国数				
7カ国	12カ国	18カ国	26カ国	38カ国
アジアでのリースを中心とした グローバルネットワークの拡大		グローバルネットワークの拡大継続 航空機関連やエクイティ投資への事業が多角化		ロベコ買収や、環境エネルギー事業の展開を 通じてさらに事業分野が拡大

✓ 社会の変化や市場の変化を捉えて新しい価値を創造



今後の成長を見込む分野

✓ 引き続き、「事業」「投資」分野を成長ドライバーとしていく

事業

環境エネルギー

- 国内メガソーラー順次稼働、自社電源の活用を推進
- 海外の投資機会も積極的に発掘

アセットマネジメント

- ビジネスラインの多様化、地理的拡大を進める
- 日本での不動産アセットマネジメント事業順調、運用資産の拡大を模索

コンセッション

- 空港運営以外のコンセッションにも挑戦
- 海外の案件も含め、幅広くチャンスを狙う

生命保険

- 販売チャネルや商品を拡充させ、次のステージへ

投資

PE投資

- 既存投資先のバリューアップを継続
- 米州やアジアでの投資を積極的に推進

航空機・船舶

- 多様な収益源を確保
- 引き続き、積極的な対応をしていく

補足資料（１）業績推移総括

（単位：億円）

	17.3期	18.3期	18.3期 3Q	19.3期 3Q	前年同期比
営業収益	26,787	28,628	21,949	17,962	82%
当期純利益 ※1	2,732	3,131	2,564	2,362	92%
セグメント資産	92,019	90,989	92,932	99,093	107%
総資産	112,319	114,260	115,519	121,218	105%
株主資本	25,077	26,824	26,679	28,175	106%
株主資本比率	22.3%	23.5%	23.1%	23.2%	+0.1%
ROE	11.3%	12.1%	13.2%	11.5%	-1.7%
セグメント資産ROA	2.96%	3.42%	3.70%	3.31%	-0.39%
D/E比率					
長短借入債務および預金/株主資本	2.3倍	2.2倍	2.2倍	2.3倍	0.1倍
長短借入債務/株主資本	1.7倍	1.5倍	1.6倍	1.6倍	0.0倍

※ 1 当社株主に帰属する当期純利益

(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 3Q	19.3期 3Q	前年同期比
法人金融サービス	380	493	376	198	53%
メンテナンスリース	398	402	311	304	98%
不動産	728	624	521	554	106%
事業投資	850	961	626	304	49%
リテール	729	745	633	662	105%
海外	1,124	1,066	1,095	956	87%
セグメント利益合計	4,209	4,291	3,562	2,978	84%

（単位：億円）

	17.3	18.3	17.12	18.12	前期末比
法人金融サービス	10,860	9,918	10,067	9,749	98%
メンテナンスリース	8,067	8,472	8,149	8,624	102%
不動産	6,577	6,202	6,058	5,681	92%
事業投資	7,800	8,563	8,792	9,590	112%
リテール	32,934	31,745	32,127	33,961	107%
海外	25,781	26,088	27,739	31,488	121%
セグメント資産合計	92,019	90,989	92,932	99,093	109%

- 当連結会計年度より、リース債権、貸付債権等の金融資産を証券化するためのVIEについては、セグメント収益・セグメント利益・セグメント資産に含めて計上しており、過年度の財務諸表に遡って適用しています。

補足資料（４） 損益の状況

(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 3Q	19.3期 3Q	前年同期比
金融収益	2,119	2,283	1,713	1,800	105%
有価証券売却益および受取配当金	303	433	339	48	14%
オペレーティング・リース収益	1,551	1,273	1,012	1,218	120%
生命保険料収入および運用益	958	965	735	752	102%
商品および不動産売上高	865	755	544	374	69%
サービス収入	2,754	2,981	2,257	2,417	107%
営業粗利益 ※1	8,549	8,691	6,601	6,608	100%
支払利息	729	768	568	674	119%
販売費および一般管理費	4,187	4,316	3,153	3,201	102%
貸引・減損	384	240	158	149	94%
その他の損益（純額）	-44	4	-11	2	—
営業利益	3,292	3,362	2,733	2,582	94%
持分法投資損益	265	501	463	165	36%
子会社・関連会社株式売却損益等	692	492	409	205	50%
税引前当期純利益	4,250	4,355	3,605	2,952	82%
当期純利益	2,732	3,131	2,564	2,362	92%

※1 営業収益に対応する原価・費用を控除したネットの金額

補足資料（５）財務の状況

(単位：億円)

資金調達残高	17.3	18.3	17.12	18.12	前年同期比
CP	501	549	495	1,886	1,391
金融機関借入	29,582	30,562	30,925	32,870	1,945
社債・MTN	8,851	9,401	10,065	9,548	-517
預金	16,146	17,575	17,451	18,846	1,395
ABS、CMBS	2,451	821	1,011	1,889	878
長短借入債務および預金	57,531	58,907	59,946	65,039	5,093
長期比率	93%	93%	92%	86%	-6%

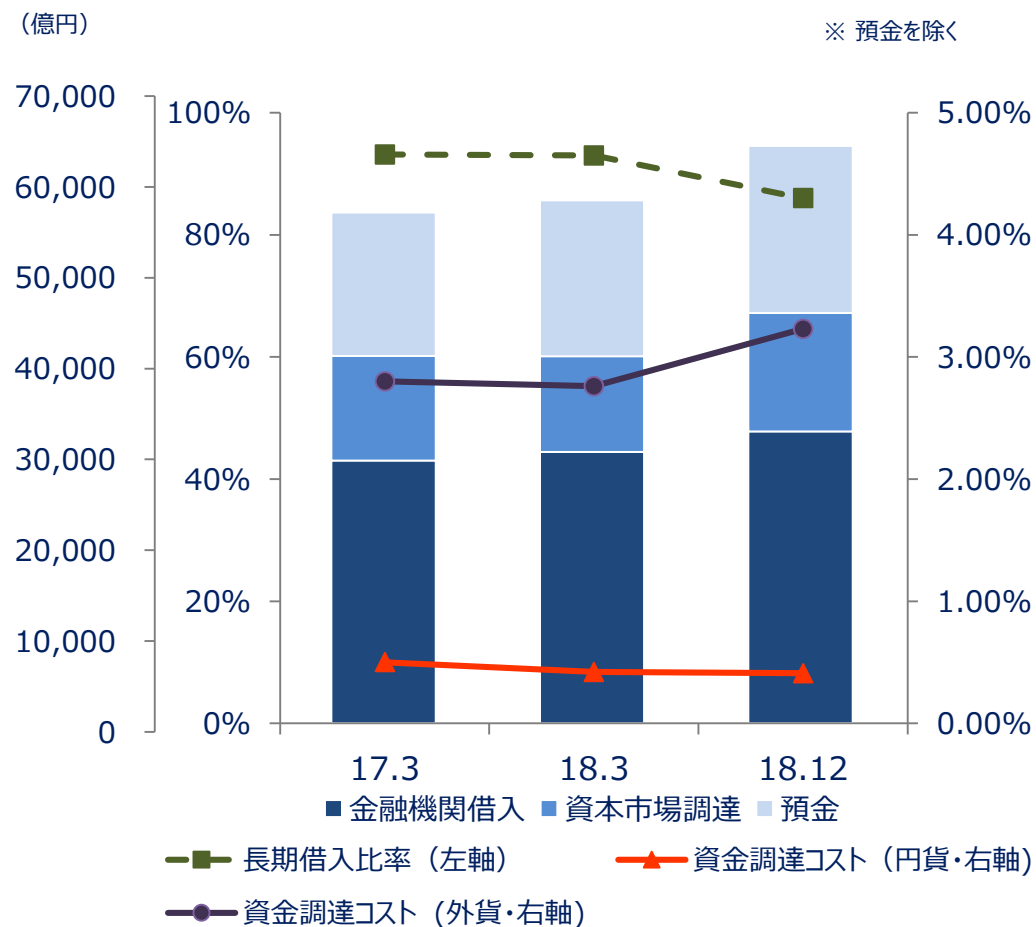
手元流動性（銀行・生命を除く）	17.3	18.3	17.12	18.12	前年同期比
現金および現金等価物（①）	5,866	6,177	5,782	5,576	-206
コミットメント未使用額（②）	3,940	3,327	2,710	2,532	-178
手元流動性（①＋②）	9,806	9,504	8,492	8,108	-384
市場性短期債務（③）※1	2,909	1,384	1,332	3,079	1,747
手元流動性カバー率（〔①＋②〕/③）	337%	687%	637%	263%	-374%

資金調達コスト（預金含む）	17.3期	18.3期	18.3期 3Q	19.3期 3Q	前年同期比
円貨	0.50%	0.42%	0.42%	0.41%	-0.01%
外貨	2.80%	2.76%	2.71%	3.23%	0.52%

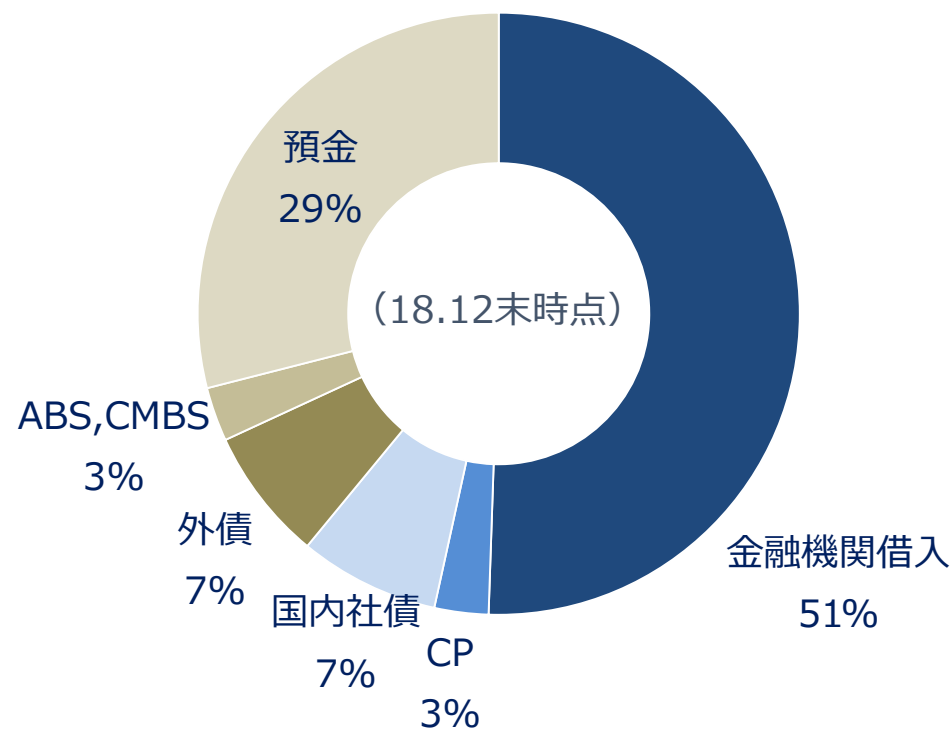
※1 1年以内に償還予定の社債・MTNと、CP残高の合計値

✓ 調達の長期化・安定化とコストコントロールの両方を実現

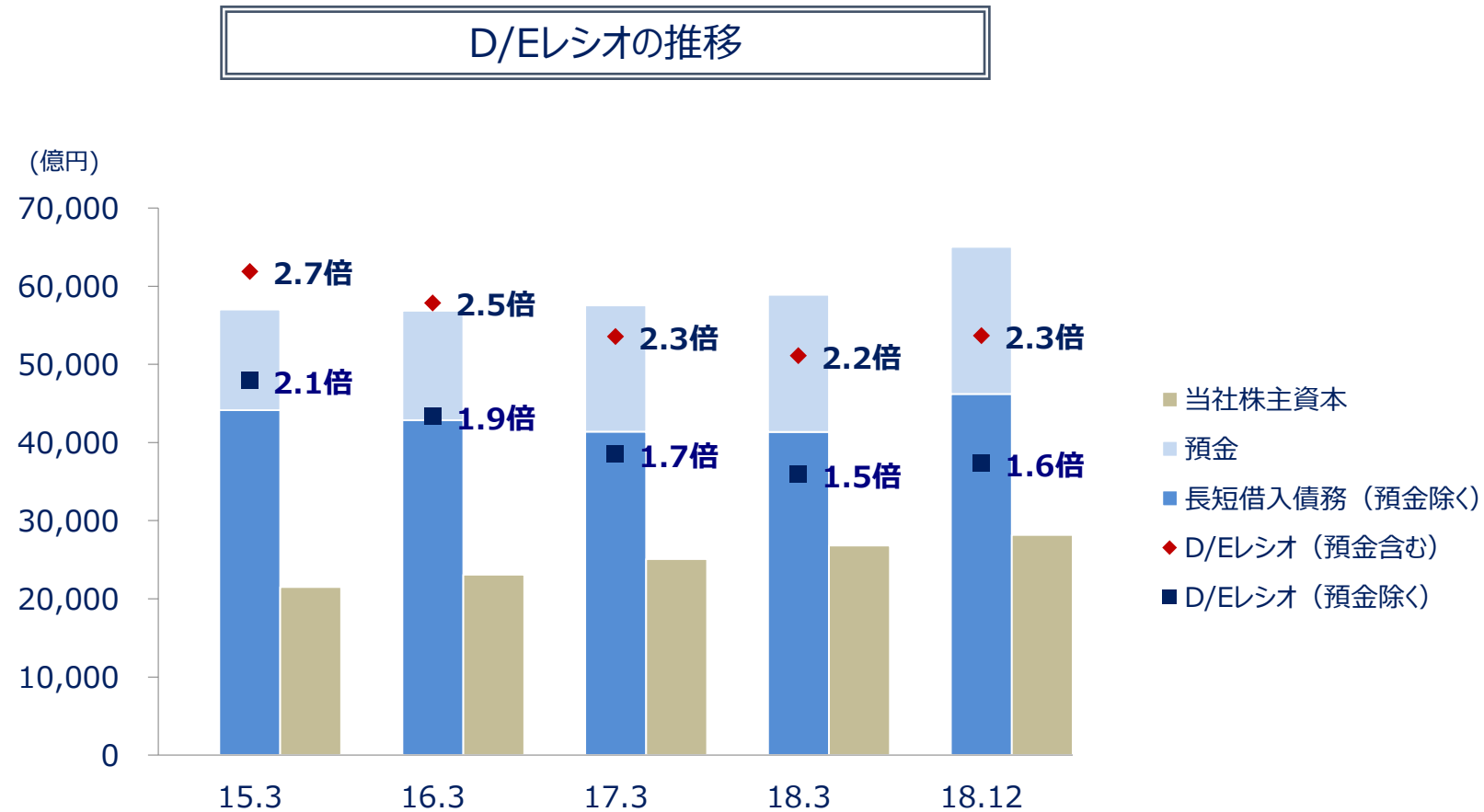
調達構造・長期借入比率（※）・コストの推移



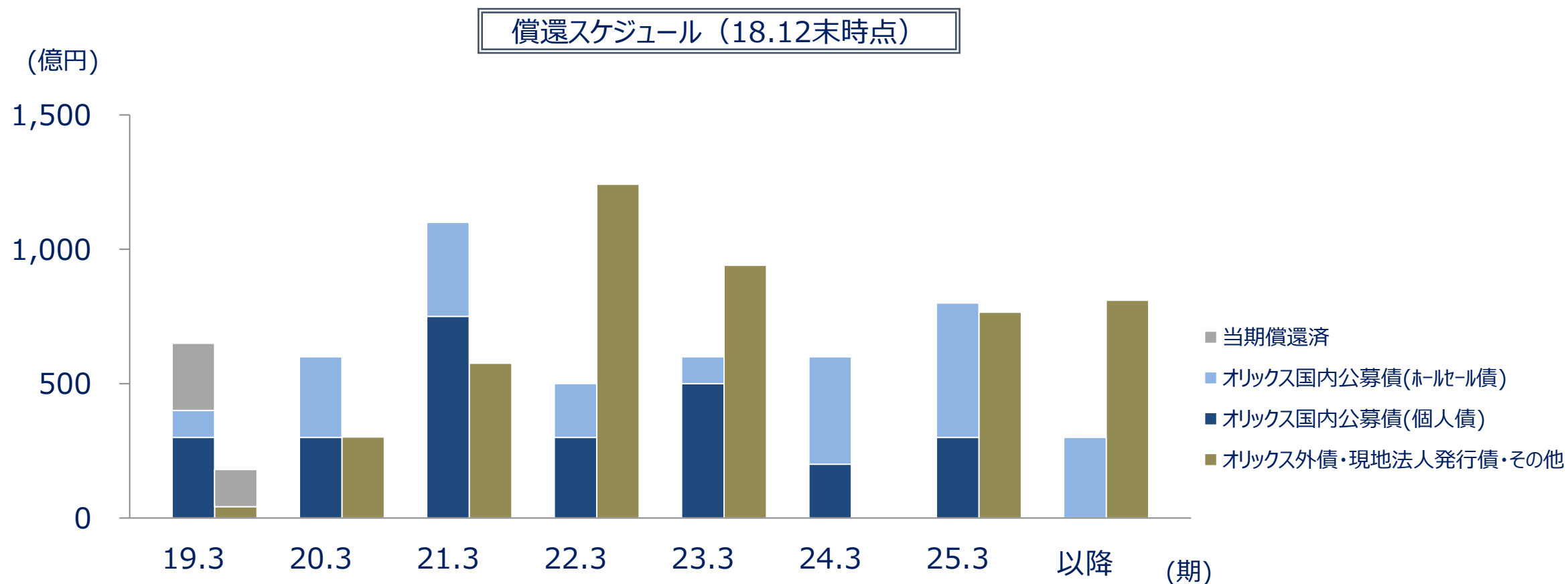
資金調達の内訳



✓ D/Eレシオは低位で推移



✓ 償還期日の分散を通じ、各期償還額の平準化を実現



セグメント別業績（１）法人金融サービス

（単位：億円）

	17.3期	18.3期	18.3期 3Q	19.3期 3Q	前年同期比
金融収益	324	307	234	223	95%
オペレーティング・リース収益	256	234	174	178	102%
サービス収入	385	403	284	292	103%
商品および不動産売上高 他	66	215	170	25	15%
セグメント収益	1,031	1,158	862	717	83%
セグメント費用	682	688	509	511	100%
セグメント利益	380	493	376	198	53%

ファイナンス・リース投資	4,834	4,393	4,472	4,145
営業貸付金	4,029	3,699	3,771	3,699
セグメント資産	10,860	9,918	10,067	9,749
ROA	2.34%	3.24%	3.27%	1.84%

セグメント別業績（２）メンテナンスリース

（単位：億円）

	17.3期	18.3期	18.3期 3Q	19.3期 3Q	前年同期比
金融収益	134	142	107	107	100%
オペレーティング・リース収益	1,873	1,897	1,421	1,477	104%
サービス収入	663	678	516	524	102%
セグメント収益	2,710	2,759	2,072	2,143	103%
セグメント費用	2,311	2,356	1,759	1,850	105%
セグメント利益	398	402	311	304	98%

ファイナンス・リース投資	3,089	3,199	3,119	3,257
オペレーティング・リース投資	4,926	5,055	4,985	5,151
セグメント資産	8,067	8,472	8,149	8,624
ROA	3.42%	3.32%	3.49%	3.25%

セグメント別業績（3）不動産

(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 3Q	19.3期 3Q	前年同期比
金融収益	23	21	15	15	100%
オペレーティング・リース収益	882	469	393	514	131%
うち賃貸不動産売却益	497	130	133	270	203%
サービス収入	1,126	1,161	929	1,012	109%
商品および不動産売上高 他	90	79	49	40	81%
セグメント収益	2,121	1,729	1,386	1,580	114%
セグメント費用	1,431	1,432	1,079	1,067	99%
セグメント利益	728	624	521	554	106%

オペレーティング・リース投資	2,982	2,470	2,464	2,026
事業用資産	1,850	1,955	1,903	1,973
ホテル・旅館	715	826	768	848
ゴルフ場	533	541	545	539
その他	602	588	590	586
賃貸資産前渡金	186	205	194	242
関連会社投資	993	867	815	865
セグメント資産	6,577	6,202	6,058	5,681
ROA	7.12%	6.67%	7.51%	8.52%

セグメント別業績（４）事業投資

(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 3Q	19.3期 3Q	前年同期比
金融収益	110	93	75	70	94%
有価証券売却益および受取配当金	130	76	57	1	2%
商品および不動産売上高	9,384	10,487	8,166	4,348	53%
サービス収入	2,995	3,263	2,360	2,576	109%
オペレーティング・リース収益 他	102	105	79	52	66%
セグメント収益	12,721	14,024	10,737	7,048	66%
セグメント費用	12,244	13,502	10,385	6,857	66%
持分法投資損益等	373	439	274	113	41%
セグメント利益	850	961	626	304	49%

営業貸付金	715	594	630	502
投資有価証券	477	299	346	286
事業用資産	1,877	2,081	1,857	2,601
棚卸資産	1,128	1,015	1,284	1,350
関連会社投資	715	1,704	1,506	1,799
営業権・その他の無形資産	1,809	1,851	1,903	2,182
セグメント資産	7,800	8,563	8,792	9,590
ROA	7.75%	8.02%	6.88%	3.06%

セグメント別業績（５）リテール

（単位：億円）

	17.3期	18.3期	18.3期 3Q	19.3期 3Q	前年同期比
金融収益	681	729	547	576	105%
生命保険料収入および運用益	2,979	3,530	2,796	2,291	82%
サービス収入 他	27	28	21	26	125%
セグメント収益	3,687	4,287	3,364	2,893	86%
セグメント費用	2,958	3,542	2,731	2,230	82%
セグメント利益	729	745	633	662	105%

営業貸付金	17,270	18,528	18,353	19,831
投資有価証券	15,027	12,603	13,152	13,671
セグメント資産	32,934	31,745	32,127	33,961
ROA	1.47%	1.57%	1.77%	1.84%

セグメント別業績（6） 海外①

(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 3Q	19.3期 3Q	前年同期比
金融収益	851	984	737	805	109%
有価証券売却益および受取配当金	133	175	136	55	41%
オペレーティング・リース収益	884	1,116	850	936	110%
サービス収入	2,167	2,386	1,795	1,794	100%
セグメント収益	4,627	4,796	3,603	3,654	101%
セグメント費用	3,905	3,829	2,815	2,886	103%
持分法投資損益等	402	99	307	188	61%
セグメント利益	1,124	1,066	1,095	956	87%

ファイナンス・リース投資	3,577	3,687	3,865	3,643
営業貸付金	6,135	5,346	5,893	7,739
オペレーティング・リース投資	4,206	4,911	4,965	5,034
投資有価証券	4,333	4,134	4,565	4,121
関連会社投資	3,322	3,146	3,370	5,653
営業権・その他の無形資産	3,802	4,270	4,472	4,607
セグメント資産	25,781	26,088	27,739	31,488
ROA	3.08%	2.81%	3.73%	3.03%

■海外セグメント資産の内訳

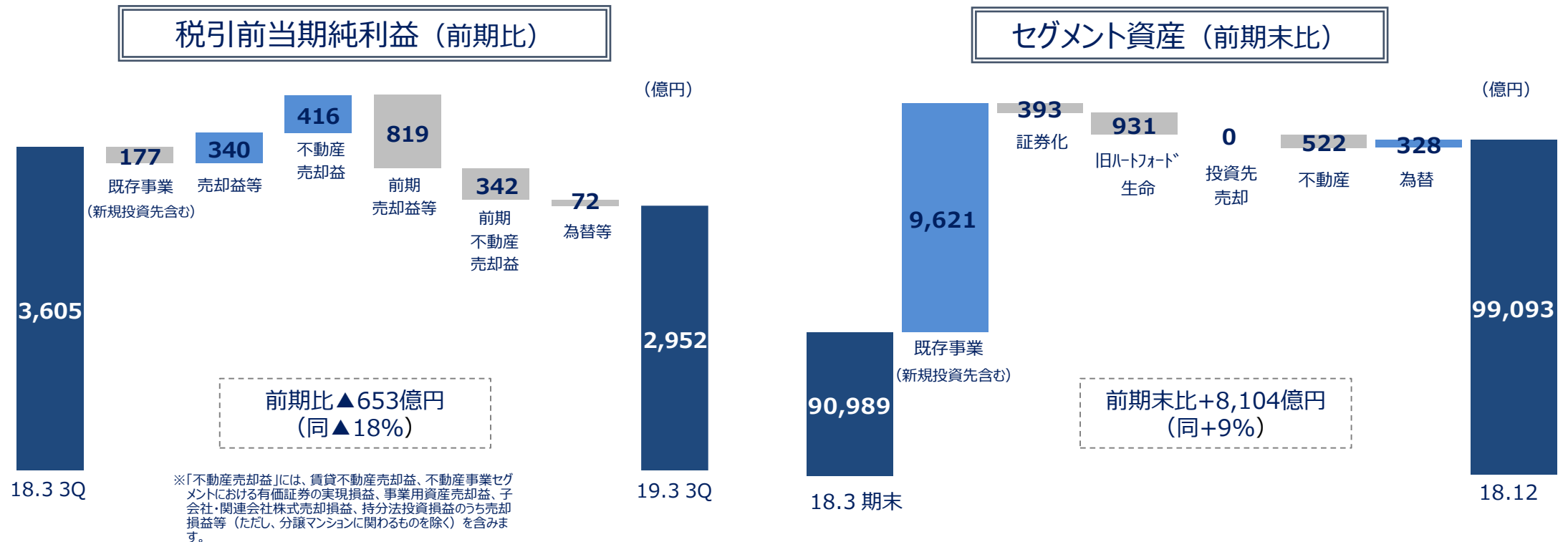
(単位：億円)

地域別	17.3	18.3	17.12	18.12	前期末比
米州	10,032	8,697	9,614	11,537	133%
アジア・豪州	5,936	6,435	6,802	6,482	101%
中華圏	3,156	3,296	3,346	3,308	100%
中東・欧州	365	205	325	182	89%
ORIX Europe *	3,173	3,538	3,672	3,438	97%
航空機・船舶	2,969	3,817	3,880	6,443	169%
その他	150	99	99	98	99%
合計	25,781	26,088	27,739	31,488	121%

*Robeco Groep N.V.は、2018年1月より、ORIX Corporation Europe N.V.(ORIX Europe) に社名変更いたしました

税引前利益・セグメント資産の増減要因

- 税引前当期純利益：前年同期比▲653億円（▲18%）
 - ✓ 既存事業は、インドの関連会社や旧ハートフォードの損失計上により減少。航空機や生命保険などは堅調
 - ✓ 売却益は前年同期比で減少、不動産売却益は前年同期を上回る
- セグメント資産：前期末比 +8,104億円（+9%）
 - ✓ 既存事業の資産増加は、海外セグメントが大きく貢献

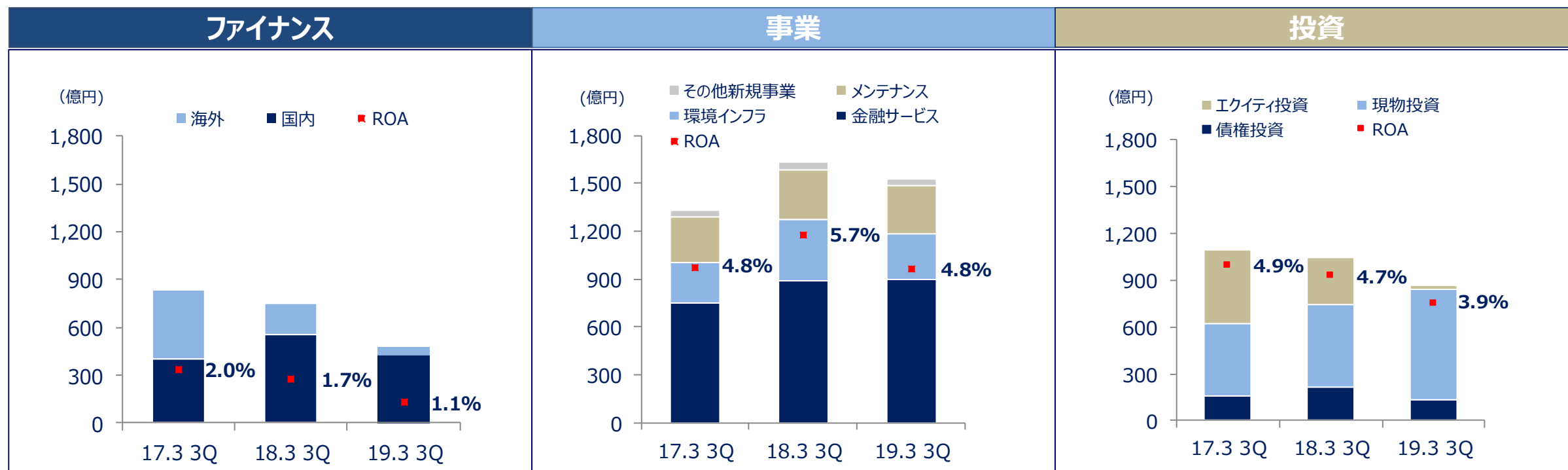


ポートフォリオの3分類で見る実績

事業： 生命保険やコンセッションが堅調に推移

投資： エクイティ投資における売却益が前期比で減少、現物投資における航空機は堅調

セグメント利益（3分類）



(注1) 17.3 3Qの「事業」には、旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。

(注2) 18.3 3Qの「事業」には、フリーハン株式の売却益と旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。

(注3) 19.3 3Qの「事業」には、フリーハン株式の売却益と旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。19.3 3Qのホテルの売却益は「現物投資」に含めています。

ポートフォリオの3分類

		ファイナンス	事業					投資		
分類	主なリスク	クレジットリスク	運営リスク、事業リスク					マーケットリスク		
	資本負荷	低	中～高					高		
		国内	海外	環境・インフラ	金融サービス	メンテナンスサービス	その他	債権投資	現物投資	エクイティ投資
セグメント	法人金融サービス	リース 貸付金 フィービジネス					弥生			新規事業
	メンテナンスリース					自動車 レンタル				
	不動産			施設運営	REIT 投資顧問				不動産投資	
	事業投資			環境エネルギー コンセッション				サービサー		PE投資 大京
	リテール	銀行 カードローン、保証			生命 (旧ハートフォード生命)					
	海外		リース 貸付金		アセットマネジメント			債券投資	航空機 船舶	PE投資

中期的な方向性（2019年3月期～2021年3月期）

（2017年10月31日公表）

利益成長

当期純利益 年間成長率4～8%

資本効率

ROE 11% 以上

健全性

信用格付A格

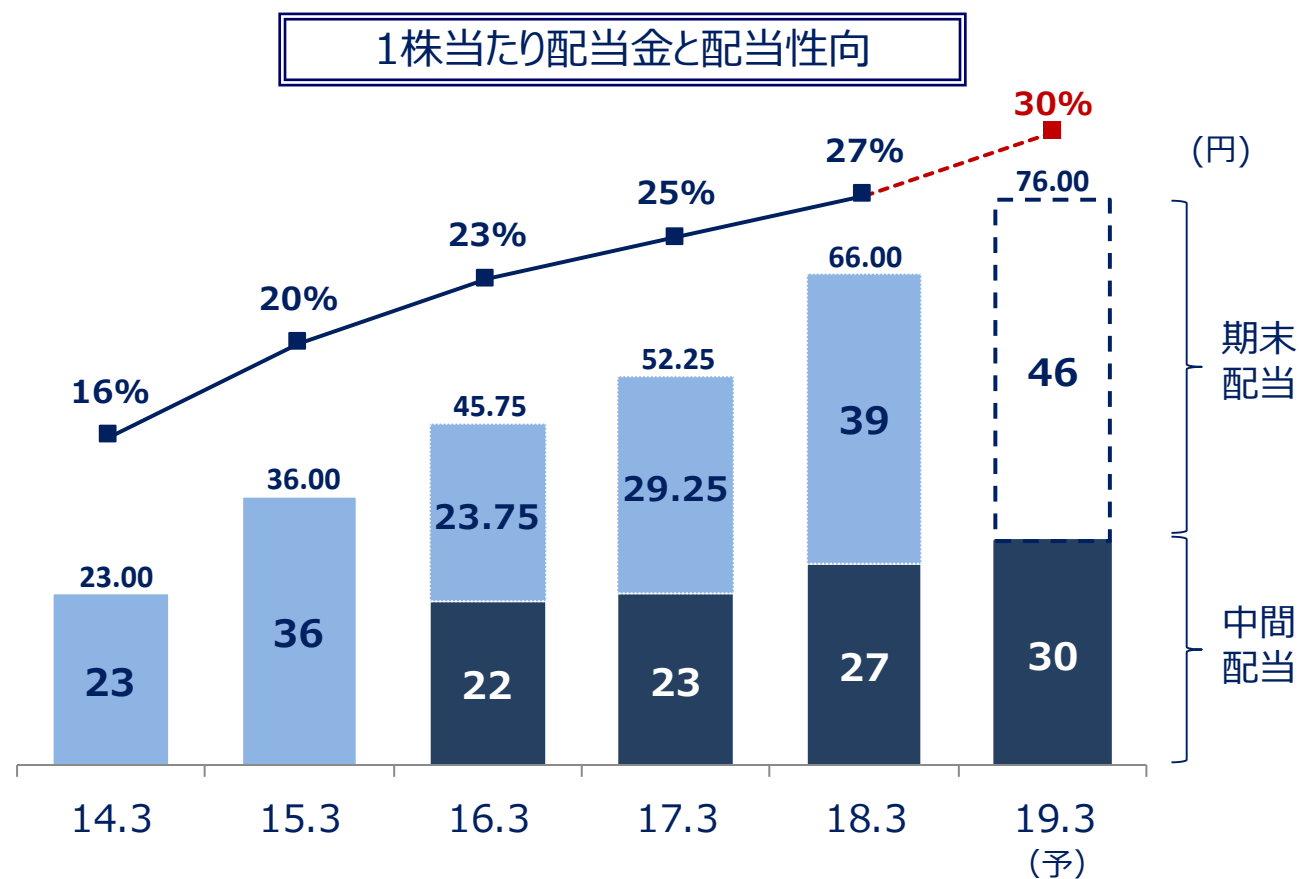
グローバル企業としてのERM強化

株主還元の方針

- ・ 配当性向は27%*
- ・ 自社株買いを機動的な株主還元として位置付ける

* 2018年10月26日、配当性向を27%から30%へ引き上げを発表

- ✓ 2019年3月期の中間配当額は30円を実施
- ✓ 2019年3月期の通期の配当性向を30%に引き上げ、通期配当予想額76円（前期比10円増、15%増）
- ✓ 持続的な利益成長に向けた新規投資と、安定した還元との最適なバランスを考慮



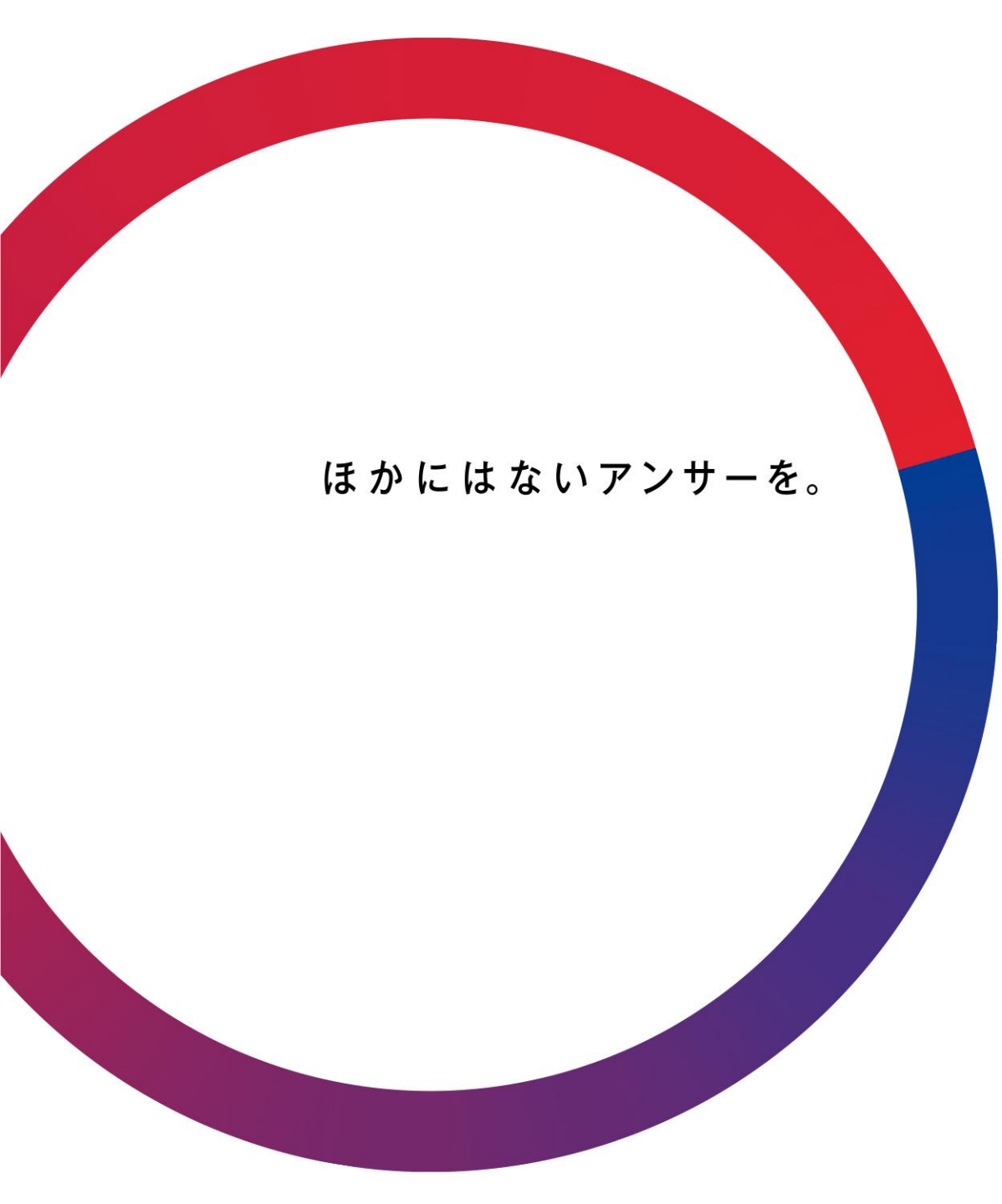
本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

また、ハートフォード生命保険株式会社は、2015年7月1日にオリックス生命保険株式会社と合併し、現在はオリックス生命保険株式会社として引き続きお客さまのご契約をお守りしています。オリックス生命保険株式会社は、The Hartford Financial Services Group, Inc.、またはその関係法人の関連会社ではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。



ほかにはないアンサーを。

オリックスに関する追加情報については弊社ホームページをご参照いただくか、下記までご連絡下さい。

投資家情報

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/>

IR資料室

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/library/>

オリックス株式会社 経営計画部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1

TEL : 03-3435-3121

FAX : 03-3435-3154